

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

岩手県では、障がい保健福祉圏域ごとに医療機関、相談支援事業所、行政機関等の地域の関係機関による協議の場の設置し、地域の実情に合わせて地域自立支援協議会等と連携をしながら、精神障がい者の地域移行を進めてきました。

特に、地域の支援体制の充実強化を図るために、地域移行(退院促進)の取組を支援する人材の養成に力を入れています。

課題	課題に解決に向けた取組状況		取組の成果
地域の医療機関や相談支援事業所、障害福祉サービス事業者等の更なるネットワークの強化	障がい保健福祉圏域(9圏域)ごとに「精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡調整委員会(地域委員会)」を設置		<ul style="list-style-type: none"> ・圏域における課題の共有や支援体制等に係る協議を実施 ・圏域単位の研修会を開催 ・家族支援の一環として、精神障がい者の家族による相談事業を実施
地域移行(退院促進)の取組を支援する人材の育成及び資質の向上	地域移行・地域生活支援関係者研修を開催(基礎研修及びフォローアップ研修)		地域移行(退院促進)の取組を支援する人材を養成 【参加者数】 ・基礎研修:78名 ・フォローアップ研修:84名
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (H30)	目標値 (令和5年度末)	達成状況の見込み(評価)
①精神病床における慢性期入院患者数(65歳以上)	1,131人	986人	概ね順調と考えられる。
②精神病床における慢性期入院患者数(65歳未満)	902人	851人	概ね順調と考えられる。
③精神病床における入院後1年時点の退院率	87.6%	91.0%	概ね順調と考えられる。

※上記の指標は、岩手県保健医療計画(2018-2023)の数値目標。評価については、単年度ごとの目標値を設定していないため、最終年度に向けた進捗状況で評価。